



菊武学園フラッシュニュース

エコレク部「環境デーなごや 2023」に出展

名古屋産業大学では、エコレク部 (Ecology&Recreation) が「自然に遊び・自然に学ぶ」を部訓に、自然に関わる様々な活動 (保全、調査、啓発、創作等) を行っています。そのエコレク部が、9月16日に久屋大通公園で開催された「環境デーなごや 2023」にブース出展しました。

今年のテーマは「3Rでつなげよう! 減らして分けて持続可能な未来へ」で、エコレク部のブースでは、瀬戸市環境課と共同で制作したオリジナル生物多様性カードゲームの「マイビオあいち」と植物のしおりづくりを出展し、来場した多くの皆さんに楽しんでいただきました。

今回イベントに参加したことにより、ごみ削減や資源の有効活用を改めて考えることで、持続可能な未来に向けて一人ひとりが取り組むきっかけとなりました。



日本インターンシップ学会「榎本記念賞」を受賞

名古屋経営短期大学では、日本インターンシップ学会が、全国の大学の優れたインターンシッププログラムを表彰する『第5回榎本記念賞「秀逸なるインターンシップ」』において、令和3年6月から令和5年5月末までの2年間に学会大会ないし各支部研究会で発表された事例の中から、同学会会員で名古屋産業大学現代ビジネス学部経営専門職学科准教授の今永典秀氏による未来キャリア学科でのインターンシップの取り組みが評価され、2年に1度、全国で4つの事例に送られる「秀逸な事例」を受賞しました。

今回の受賞を励みに、キャリア教育を一層充実させるよう取り組んでいきます。



普通科総合コース「がん教育」を実施

菊華高等学校では、高等学校における「がん教育」が令和4年4月から本格的に始まったことを受け、普通科総合コースは9月14日、認定NPO法人乳房健康研究会のピンクリボンアドバイザーを講師にお招きして、がんに対する正しい知識を学び、「ジュニアピンクリボンアドバイザー認定証」をいただきました。

当日は、実際にがん闘病の経験のある講師の方が、がんになって考えたこと、そして命の大切さ、周りの人と支え合うことの大切さを語られました。

事前アンケートで、生徒の一人が「がんになって辛いですか? 幸せですか?」と質問をしていました。その質問に対して、講師の方は「この質問が一番ドキッとしました。がんになって辛いことももちろんありました。でもそうなったことで、幸せな出会いもたくさんありました。これって、私たちが、普通に生きている時も同じだと思います。辛い時も、辛いだけでなく、幸せを感じる瞬間もあるし、幸せだと思う瞬間でも、辛さも感じる時もある。みなさんもそうだと思いますか?」と答えられました。

生徒たちにとっても、命や生き方を考える貴重な機会となりました。



【ピンクリボンアドバイザーによるがん教育】

おリコーダー部による演奏会を開く

稲葉保育園では、9月29日、9月誕生日会が行われ、この日はおリコーダー部の皆さんが来園して素敵な演奏を聞かせてくれました。

クライネソプラノーという大人の片手程の高音の出るリコーダーから、バスリコーダーという両手で抱えて吹く低音の出るリコーダーまで、様々な音の違いを知り、きれいなハーモニーを楽しみました。スーパーマリオブラザーズのテーマ曲や、保育園で歌っている「どんな色が好き」「チューリップ」など、なじみのある曲をたくさん演奏していただきました。

「わあ!」「この曲知ってる!」といった歓声や、一緒に口ずさむ姿、誕生日会に参加した保護者の方からの「素敵でした」といった声も聞かれ、特別な誕生日会の一日となりました。



【おリコーダーによる演奏会】



交通安全啓発ポスター・交通事故防止ステッカーをデザイン 東警察署長から表彰

菊武ビジネス専門学校では、9月21日、名古屋市東区にあるヤマト運輸名古屋東営業所の名古屋大幸センターで行われた「交通安全セレモニー」で、交通安全啓発ポスターをデザインした3年生の杉浦愛彩さんと交通事故防止ステッカーをデザインした3年生の栗木ひなさんが、愛知県東警察署長から表彰されました。東警察署との連携で進めていた学校周辺の交通安全啓発ポスターの作成がきっかけとなりました。



【表彰を受ける杉浦さん(写真左)と栗木さん(写真右)】

校内でデザインを募集し、投票した結果選ばれた2人の作品をどこに設置するか検討していたところ、同センターの計らいで東区全体の交通安全啓発に役立てようと、ポスターをヤマト運輸名古屋東営業所に100枚、区内を走る宅配トラック50台にステッカーを貼っていただくことになりました。



校内ドレスショー『宝石』を披露

名古屋ウェディング&フラワー・ビューティ学院では、ブライダルビジネス科ドレス・ヘアメイクコースの1年生43名のデビュー作となる校内ドレスショーが、本校9階ホールにて開催されました。

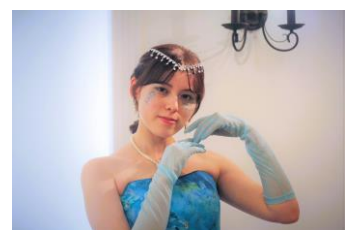
全員で考えたテーマは『宝石』。12の誕生石をイメージしたモデルが美しいドレスを纏い、華やかなヘアメイクで登場すると、会場からは「可愛い〜綺麗!」と感嘆の声があがりました。

これだけの人数で、一つの作品をつくり上げる道のりは、決して楽ではなく、思うように練習が進まないときもありました。しかし、クラス内でどうすれば上手くいくか考えて、コミュニケーションを取りながら、リハーサルで何回もの調整を重ねていきました。そして迎えた本番は、これまでで最高の出来栄でした。

リーダー、モデル、ヘアメイク、司会、音響、スポット、誘導、それぞれの役割を超えて協力し合ったからこそ、手に入れることのできた成功。この経験をバネに、今後は模擬結婚式やオープンキャンパスでより素敵なショーを披露してくれることでしょう。今はまだ原石の学生たちが、在学2年間のうちに磨かれて美しい宝石となっていく姿が楽しみです。



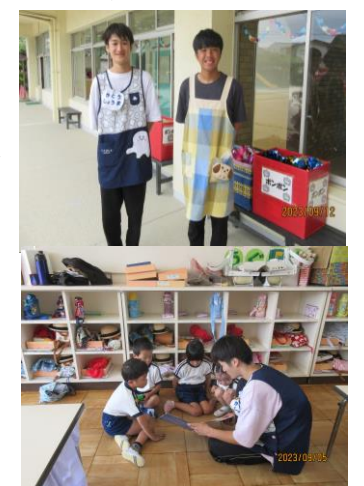
【モデルたち】



実習生との交流を図る

菊武幼稚園では、上半期に来てくれた教育実習生が下半期の実習にも来てくれました。

愛知東邦大学教育学部4年の玉家怜央君は年長つばめ組、名古屋経営短期大学子ども学科2年の加藤彰馬君は年長うぐいす組のクラスへ入って、10月7日に開催される運動会のお手伝いなど、園児たちと楽しく触れ合っていました。実習生の二人は、指導教諭のきめ細やかな園児への指導を見て、一生懸命メモを取り、汗だくになって頑張っていました。ここでの経験が少しでもお役に立てれば嬉しいです。立派な先生になられることを期待しています。



* 菊武学園エコキャップ回収実績

累計 8,885,566 個 (2023年9月末現在)